



センターのしごと がいらいしゅ くじょ 外来種の駆除



6月の梅雨時になると、センター周辺は草だらけ。緑色一色に染まります。この時期、我々センター職員の日課は除草作業。取っても取っても生えてくる草たちに手こずりながらも、その生命力の強さに感心する毎日です。

中でも気合いがいるのが、ミニ彩湖のオオフサモ駆除。毎年5月と秋の年2回行っていますが、こちらを取っ

ても取っても翌年には何事もなかったかのように生えてきます。

オオフサモ(パロットフェザー)

オオフサモはアリ

トウグサ科の抽水植物(※)で、南アメリカが原産の外来種です。過去、アクアリウム用に各地に移入されたものが野生化し、日本各地の水路や湖沼、河川などで繁殖してきました。オオフサモは繁殖能力が非常に高く、水面を覆うように繁茂して、他の植物の生育を妨げるなどの悪影響を及ぼしています。

水面を覆う オオフサモ(2008年)



ミニ彩湖でも以前は夏には水面が見えなくなるほど繁茂していました。そのため、10年ほど前から毎年職員が胴長を着て水に入り、レーキでオオフサモを根からかき取って廃棄しています。その量ワゴン車4台分！恐るべし…です。



胴長を着て水に入ります。池の底がぬかるんで歩くのも大変です



水切りをしたら、袋詰め。かけらからでも再生するので、一片も残せません

でも本来日本にはなかった植物を持ち込んだのは人間です。それを増えすぎたから邪魔者あつかいって

どうなんだろう、とゴミ袋に詰めながら考えます。一人一人が、「外来種を持ち込まない、増やさない、他の場所へ捨てない」を心がける、これが私たちにできる一歩だと思います(A)。

※^{くき}茎の下部が水面下、葉などを水面上に出す植物

講座案内（7月）

7月16日（日） ※雨天実施

「昆虫ウォッチング：夏」

木かげや草むらにいるトンボやバッタ、セミなど虫たちの様子を講師の先生と一緒に観察してみましょう。

- 対象：誰でも 小学2年生以下保護者同伴
- 定員：40名
- 時間：10：00～12：00
- 持ち物：ぼうし、タオル、動きやすい服装（長そで、長ズボン）飲み物、虫とりあみ、虫かご（貸し出し可）

○参加費：100円（保険代を含む）

※採集した昆虫は、持ち帰れません。観察ののち、もとの場所へ返します。



7月22日（土） ※雨天中止

「夜のいきものたち」

夏の夜には、昼間には見られないおもしろい生き物が見られます。ライトトラップに集まる昆虫や、夜に咲く花などを観察してみましょう。

- 対象：親子（小学生以上の親子）30名
- 時間：18：30～21：00
- 持ち物：懐中電灯（一人1台）、長そで、長ズボン、首に巻くタオル、虫よけスプレー

※暗い道を観察場所まで徒歩で移動します。安全のため、懐中電灯は一人1台必ず持参ください。

○参加費：100円（保険代を含む）



☆**申込方法**：彩湖自然学習センターへ電話にてお申込みください。各講座は定員になり次第、受付を終了させていただきます。なお、申込みは「昆虫ウォッチング：夏」は6/16（金）から、「夜のいきものたち」は6/22（木）から受け付けます。

※TEL：048-422-9991 ※問い合わせ・受付時間 10:00～16:30

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページ

(<http://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>)をご覧ください。

7月30日（日） ※雨天実施

いきものを育てよう「スズムシ配布」

毎年恒例のスズムシ配布。今年もセンターで大切に育てたスズムシを、皆様にお分けします！ 半月ほど育てていただくと、立派な大人のスズムシになり、オスはリーンリーン♪と良い音色を聞かせてくれます。飼育ケースを持ってお集まりください。

- 対象：責任を持ってスズムシを飼育できる方
- 定員：先着50家族（一家族1セット配布します）
- 時間：13：30～14：30（4階学習室で配布します）
- 持ち物：飼育ケース（土を入れたもの。ビニール袋は不可）
- 参加費：無料

※事前の申込みは行っておりません。当日直接お越しください。なくなり次第終了します。



